

議題（11）

資料 1

埼玉県水道用水供給事業の料金改定 内容について

1 令和4年度の受水量で積算

(1) 第1回審議会資料より

受水量	改定前単価	改定後単価	改定前購入費	改定後購入費	差 額
4,743,340m ³	61.78円/m ³	76.23円/m ³	293,043,552円	361,584,808円	68,541,256円

(2) 第2回審議会資料より

受水量	改定前単価	改定後単価	改定前購入費	改定後購入費	差 額
4,743,340m ³	61.78円/m ³	76.00円/m ³	293,043,552円	360,493,840円	67,450,288円

(3) 埼玉県決定料金

受水量	改定前単価	改定後単価	改定前購入費	改定後購入費	差 額
4,743,340m ³	61.78円/m ³	74.74円/m ³	293,043,552円	354,517,231円	61,473,679円

※全て税抜きで表示

議題（14）

資料 4

水道料金改定の基本方針等について

1 水道料金について

- ◆ 水道事業は他公共事業とは異なり、公共性を担う必要不可欠なインフラであるため、独立採算制が原則とされています。
- ◆ 水道事業は税金等での補填はされず、料金収入などの収入によって運営されなければなりません。
- ◆ 水道事業は公共事業であることから、その料金は公正妥当で、適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができるものでなければなりません。

①公正妥当性

- ・ 適正なサービスと料金水準
- ・ 公平な料金体系

②適正な原価

- ・ 原価主義

③健全運営の確保

- ・ 事業報酬

2 水道料金表

水道料金表 2 カ月検針（税抜）

種別	基本料金		水量料金（1m ³ につき）	
	口径		水量区分	
専用及び共用	13ミリメートル	1,200円	1 m ³ ～ 20 m ³	50円
	20ミリメートル	1,400円	21 m ³ ～ 40 m ³	130円
			41 m ³ ～ 60 m ³	150円
			61 m ³ ～ 100 m ³	170円
			101 m ³ ～ 200 m ³	190円
			201 m ³ 以上	210円
臨時用	上記料金に準ずる。		1 m ³ につき	500円

水道料金表 1 カ月検針（税抜）

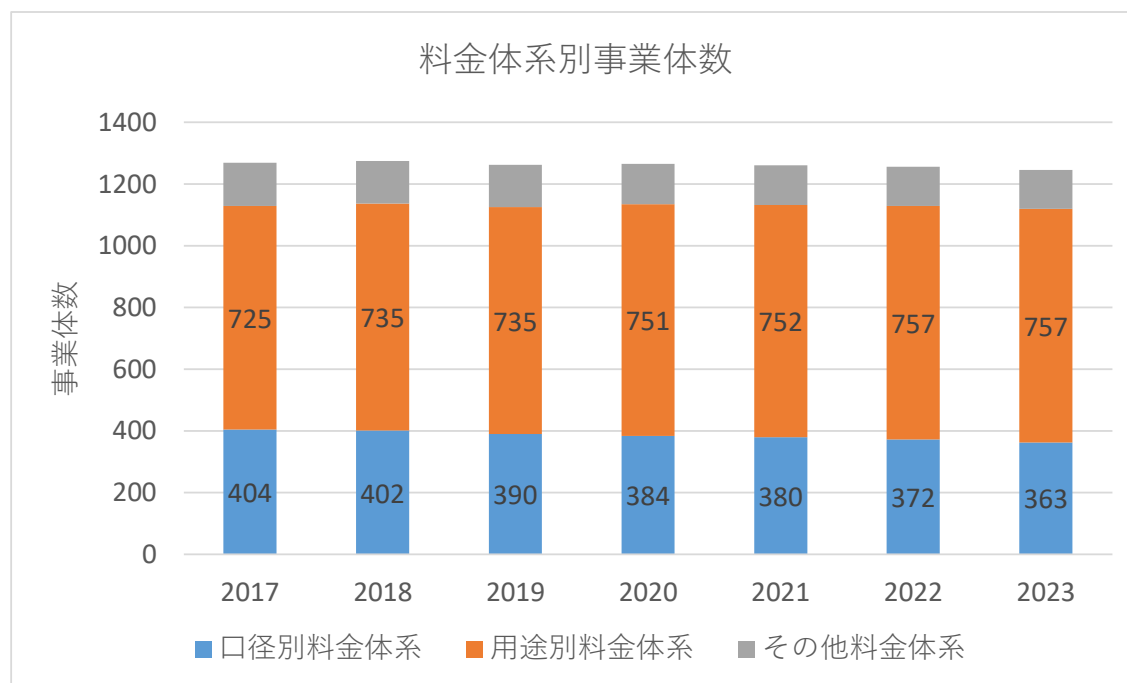
種別	基本料金		水量料金（1m ³ につき）	
	口径		水量区分	
専用及び共用	25ミリメートル	3,000円	1 m ³ ～ 10 m ³	50円
	30ミリメートル	5,000円	11 m ³ ～ 20 m ³	130円
	40ミリメートル	7,000円	21 m ³ ～ 30 m ³	150円
	50ミリメートル	12,000円	31 m ³ ～ 50 m ³	170円
	75ミリメートル	20,000円	51 m ³ ～ 100 m ³	190円
			101 m ³ 以上	210円
臨時用	上記料金に準ずる。		1 m ³ につき	500円

注意：口径25mm以上の検針期間は1カ月毎になります。

- ◆ 幸手市の料金体系は「口径別料金体系」「逦増型水量料金」となっています。
- ◆ 幸手市の料金表は少ない利用水量区分（1m³～20m³）の従量料金を安くした料金表となっており、引き続き少水量利用者への配慮した料金表としたい。

3 料金体系（口径別料金）

- ◆全国的に用途の把握が困難であるといった理由から、用途別料金体系から口径別料金体系へ変更を検討する水道事業体が多くなっています。
- ◆幸手市の近隣市町においても、用途別料金体系を採用している事業体は少数です。



	埼玉県内	近隣市町※
用途別料金体系	46事業	0事業
口径別料金体系	9事業	8事業 (幸手市含む)

※近隣市町は春日部市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町、千葉県野田市、茨城県五霞町を集計

- ◆幸手市においても、用途別料金体系に変更する特別な理由がないため、口径別料金体系を維持していきたい。

4 料金体系（逦増度）

- ◆ 逦増度とは1 m³当たりの水量料金の最大値が最小値とどの程度差があるかを示すものです。
- ◆ 逦増度が高い場合は、多量使用者への負担が大きい可能性があると考えられます。

逦増度（-）＝最大水量料金（円/m³）÷（10m³使用時水量料金÷10）（円/m³）

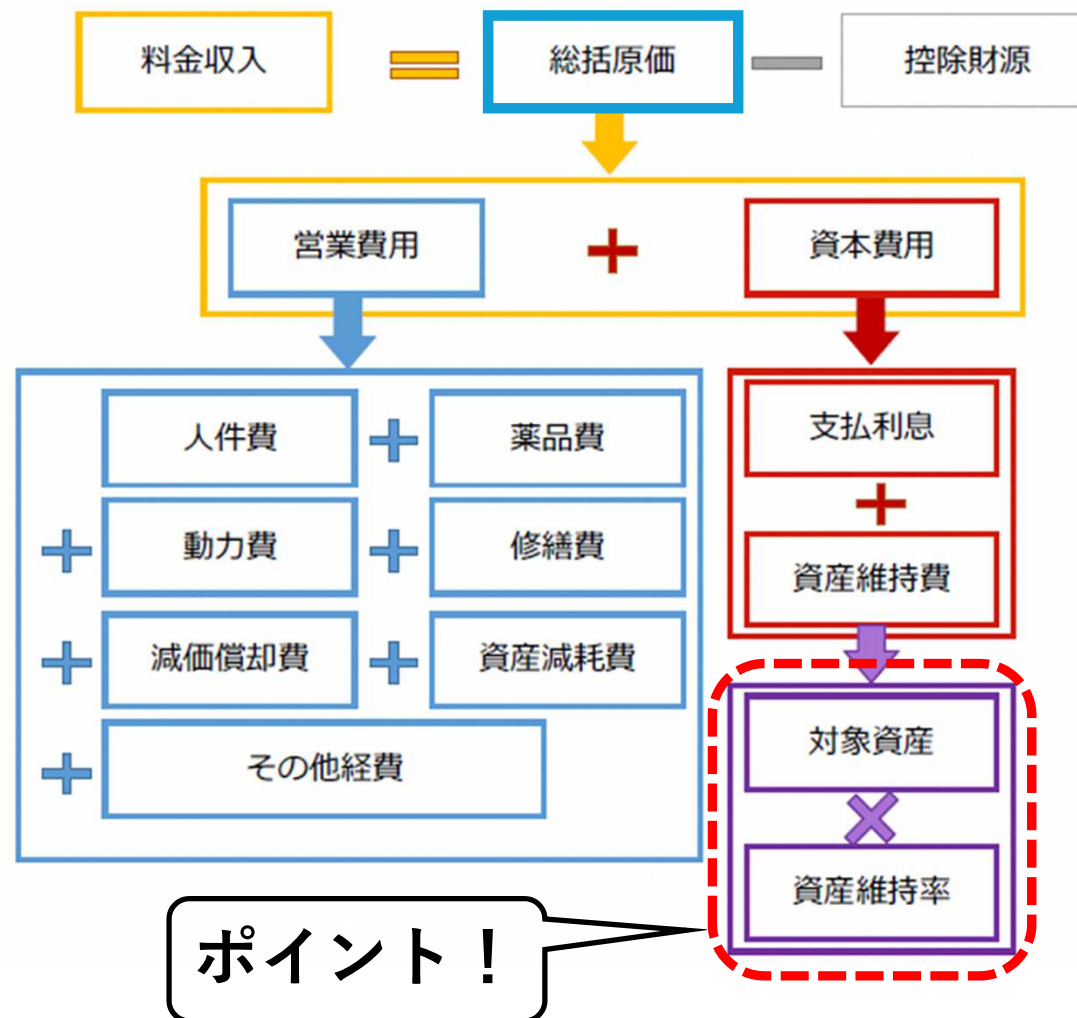
	春日部市	久喜市	幸手市	宮代町	白岡町	杉戸町	野田市	五霞町
水量料金体系	逦増性	逦増性	逦増性	逦増性	逦増性	逦増性	逦増性	単一性
10m ³ 使用時 （税込み）	1,199	1,661	1,210	1,463	1,463	1,375	1,628	2,200
最大水量料金 （税込み）	363	308	231	462	330	308	363	220
逦増度	3.0	1.9	1.9	3.2	2.3	2.2	2.2	1.0

- ◆ 幸手市の逦増度は1.9と周辺事業体（五霞町：単一性料金を除く）の中で低い水準となっており、多量使用者が過大な負担とならないよう配慮されているため、同程度の逦増度となるような構成を維持していきたい。

5 総括原価

◆ 水道料金は、将来必要となる事業を適切に運営、維持、拡充していくために必要な費用（総括原価）と同等の額を徴収できる水準とすべきとされています。（原価主義）。なお、3～5年までの期間で算定するとしています。

◆ 総括原価は人件費や動力費などの事業活動に伴い生じる「営業費用」と、水道施設を維持するための資金調達により発生する「資本費用」に分けられます。

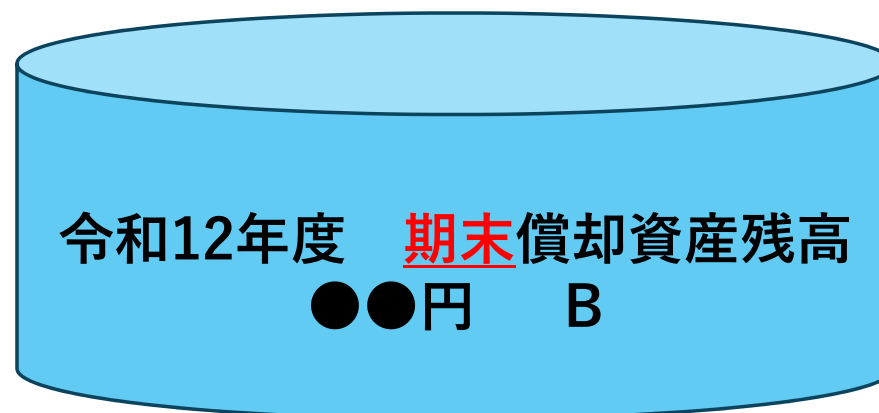
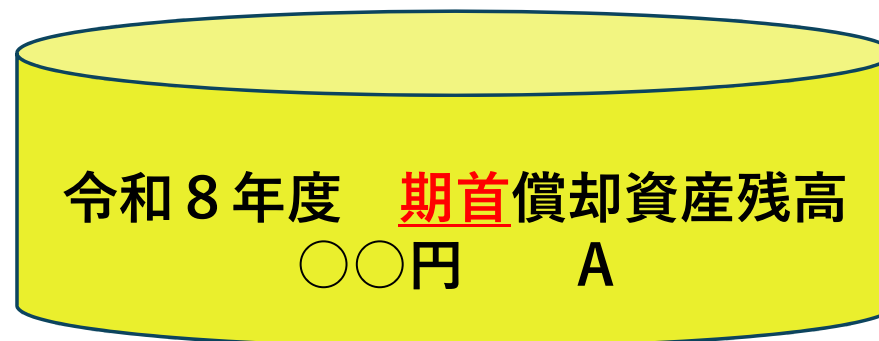


6 資産維持費と資産維持率

- ◆総括原価には、水道事業の「健全な運営を確保」ができるよう、施設の計画的な改修・更新等に必要な費用「資産維持費」を含めます。

- ◆資産維持費の計算は、右に示したとおりです。資産維持率は3%が標準的※な率とされています。

※(公社)日本水道協会「水道料金算定要領」に明記



$$\text{資産維持費} = (\text{○○円} + \text{●●円}) \div 2 \times (\text{標準 3 \% 資産維持率}) \times 5\text{年}$$

7 総括原価の試算

- ◆ 令和8年度から5年間の総括原価は右表のとおりです。
- ◆ 資産維持費を見込まない場合でも、現在の水道料金は約24.3%不足します。
- ◆ 総括原価＝水道料金（最低限の運営維持）とするためには水道料金を約24.3%増となる改定が必要がある。
- ◆ 資産維持率を標準の3%とすると最大で約47.9%増となる改定が必要となります。

単位：千円

年度		令和8年度～令和12年度 (2 0 2 6 ～ 2 0 3 0) (5 カ年)			
		資産維持率			
		0.0%	1.0%	2.0%	3.0%
営業費用	①	5,184,071	5,184,071	5,184,071	5,184,071
	維持管理費（人件費、動力費など）	3,229,564	3,229,564	3,229,564	3,229,564
	減価償却費	1,725,235	1,725,235	1,725,235	1,725,235
	既存分	1,347,345	1,347,345	1,347,345	1,347,345
	新規分	377,890	377,890	377,890	377,890
	資産減耗費	42,185	42,185	42,185	42,185
	その他維持管理費	187,087	187,087	187,087	187,087
資本費用	②	163,261	474,372	785,483	1,096,594
	支払利息	163,261	163,261	163,261	163,261
	資産維持費	0	311,111	622,222	933,333
控除項目	③	449,619	449,619	449,619	449,619
	受託工事収益	0	0	0	0
	その他営業収益	326,612	326,612	326,612	326,612
	補助金	0	0	0	0
	営業外収益	123,007	123,007	123,007	123,007
	特別利益	0	0	0	0
総括原価	④＝①＋②－③	4,897,713	5,208,824	5,519,935	5,831,046
給水収益	⑤	3,941,636	3,941,636	3,941,636	3,941,636
給水収益不足額	⑤－④	▲ 956,077	▲ 1,267,188	▲ 1,578,299	▲ 1,889,410
料金改定率	(④÷⑤－1) × 100	24.3%	32.1%	40.0%	47.9%

8 料金改定率

◆ 料金改定率

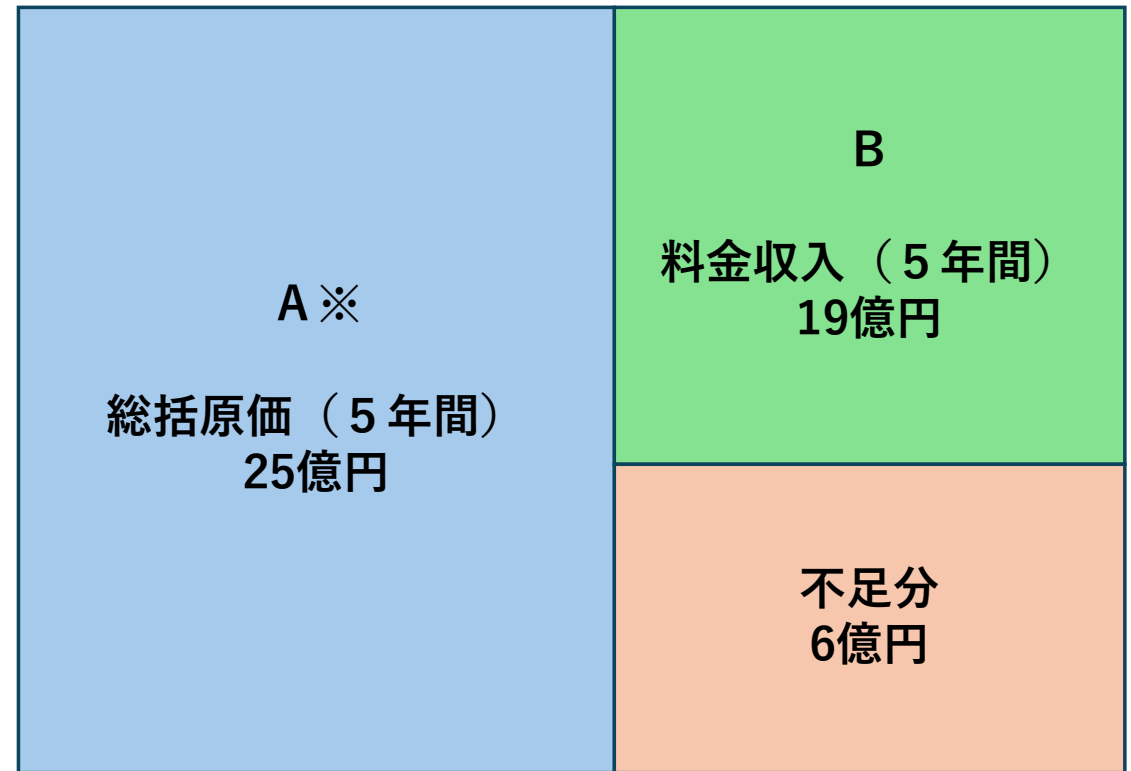
$((A \div B) - 1) \times 100$ で算出

(例)

$((25 \div 19) - 1) \times 100 \div 31.6$

(例)の場合は、「31.6」が改定率になります。不足分の6億円を補うためには、31.6%増となる料金改定が必要になります。

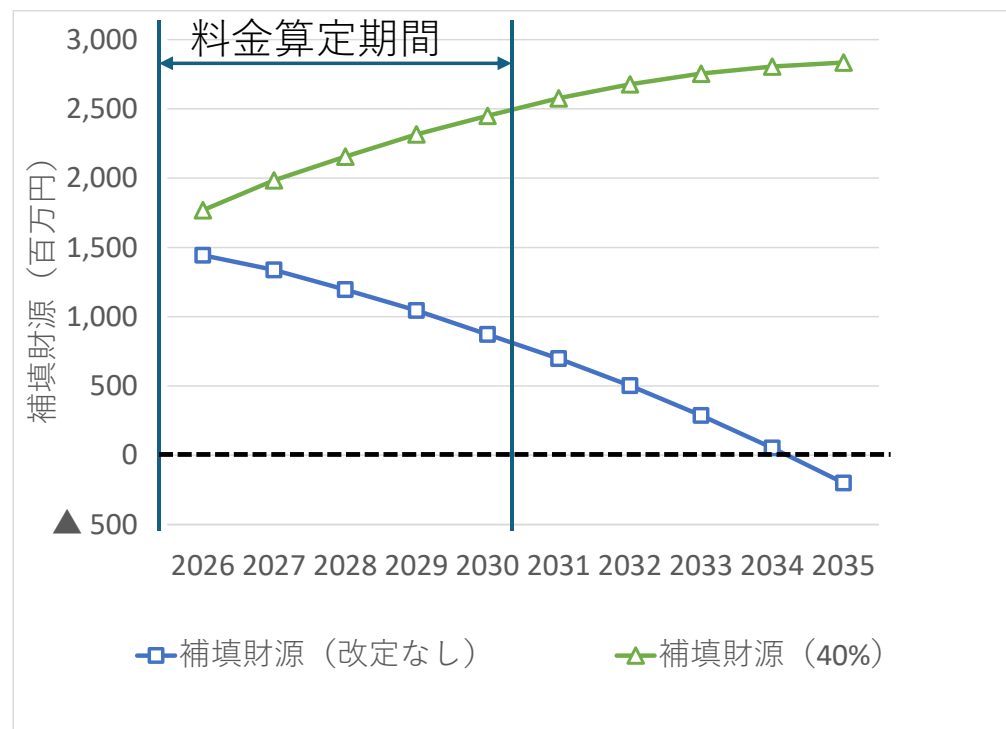
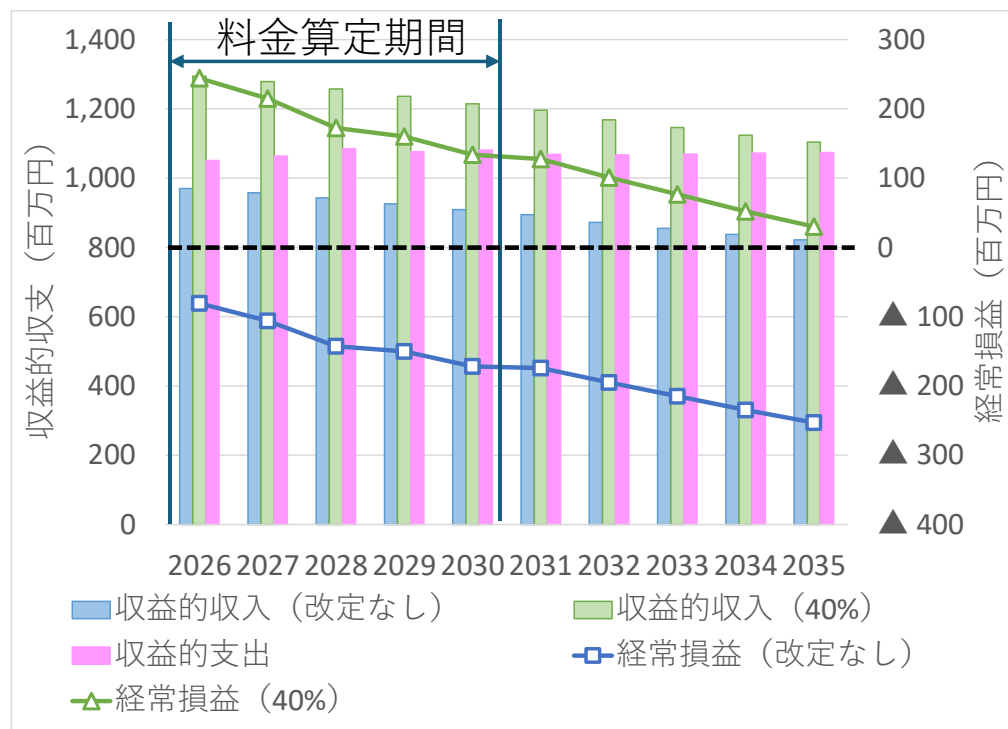
(例)



※ A には、資産維持費が含まれます。
(資産維持費は、3%が標準とされています。)

9 料金改定前後の比較

- ◆改定の一例として、資産維持率2%、改定率を約40.0%とした場合、経常損益は令和17年度まで黒字を維持し、補填財源は約1.5倍に増加します。対して、料金改定を行わない場合、経常損益は令和8年度からマイナスとなり損失額は下降の一途となります。また、補填財源も減少し続け令和17年度にはマイナスとなります。



10 料金改定後の影響額について

現行料金表

基本料金		水量料金(1m³)	
口径	一月当り	水量区分	一月当り
13mm	600	1～10m³	50
20mm	700	11～20m³	130
25mm	3,000	21～30m³	150
30mm	5,000	31～50m³	170
40mm	7,000	51～100m³	190
50mm	12,000	101m³以上	210
75mm	20,000		

1月あたりの使用料

13mmの場合

10m³ $(600 + (50円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥1,210

20m³ $(600 + (50円 \times 10m³) + (130円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥2,640

20mmの場合

10m³ $(700 + (50円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥1,320

20m³ $(700 + (50円 \times 10m³) + (130円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥2,750



改定後料金表(改定率40.0%)

基本料金		水量料金(1m³)	
口径	一月当り	水量区分	一月当り
13mm	840	1～10m³	70
20mm	980	11～20m³	180
25mm	4,200	21～30m³	210
30mm	7,000	31～50m³	230
40mm	9,800	51～100m³	260
50mm	16,800	101m³以上	290
75mm	28,000		

1月あたりの使用料

13mmの場合

10m³ $(840 + (70円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥1,694 **¥484**
40.0%

20m³ $(840 + (70円 \times 10m³) + (180円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥3,674 **¥1,034**
39.2%

20mmの場合

10m³ $(980 + (70円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥1,848 **¥528**
40.0%

20m³ $(980 + (70円 \times 10m³) + (180円 \times 10m³)) \times 1.1$
 ¥3,828 **¥1,078**
39.2%

11 料金改定後の近隣市町との比較

- ◆ 口径13mm、使用水量10m³の場合、約40%増（資産維持率2%）の改定では近隣市町の中でも水道料金が高い水準となります。

現行料金		10m ³ 使用時 (税込み)		資産維持率2% (40%)	10m ³ 使用時 (税込み)	
1	春日部市	1,199	40%改定	1	春日部市	1,199
2	幸手市	1,210		2	杉戸町	1,375
3	杉戸町	1,375		3	宮代町	1,463
4	宮代町	1,463		4	白岡町	1,463
5	白岡町	1,463		5	野田市	1,628
6	野田市	1,628		6	久喜市	1,661
7	久喜市	1,661		7	幸手市	1,694
8	五霞町	2,200		8	五霞町	2,200

- ◆ 財政見通し、周辺地域の水準及び急激な市民負担を考慮すると、現時点で40%を超える（資産維持率2%）料金改定は影響が大きすぎると考えられます。しかしながら、周辺事業体の水道料金の改定状況や財政状況の推移は注視しておく必要があります。

12 水道料金改定の基本方針等

◆ 基本方針等

- ・ 原則、水道料金の体系及び構成は維持し、料金のみについて改定する。

項 目	詳 細	説 明
料金体制	二部料金制	基本料金と従量料金とする。
用途別	2 種類	専用及び共用、臨時用とする。
基本料金	口径別料金	13、20、25、30、40、50及び75mmの7種類とする。
従量料金	逡増型	水量区分の水量幅も改定しない。
水量区画	6 区画（専用及び共用）	少水量使用者への配慮をする。
水量区画	1 区画（臨時用）	1m ³ あたりとする。

- ・ 市民への急激な負担増に配慮するため、資産維持率を2.0%以下に設定し、料金改定率も40%以下にする。また、改定時期についても配慮する。
- ・ 算定期間終了年度の令和12年度末までに、令和13年度以降の水道料金について検討する。

E N D